

## 「認知症予防支援相談士」など3つの資格を展開

# 認知症予防資格「3種目」 より実践的なスキルを提供

一般財団法人 国際技能・技術振興財団

国際技能・技術振興財団（本部・東京都港区）が取り組む人材育成事業の一つである「認知症予防支援相談士」資格制度。年に2回実施される同資格認定は、1月に本年前半試験が終了。次の7月試験に向けて現在準備が進められている。また、さらに実践的なスキルが盛り込まれた「認知症予防食生活支援指導員」試験も3月に実施された。とともに建築分野に携わる技術者支援を主軸事業としている同財団だが、こうした「認知症予防」に関する認定試験を開始して、5年が経過している。今回はこの資格制度発足の中心人物である城多秀年常務理事に、資格制度にまつわる話をして伺った。

—認知症予防支援相談士—  
とあわせて、同系統の資格制度が全部で3つあると伺っています。

城多 そうです。まず軸となる「認知症予防支援相談士」

資格制度があり、それを支える両輪のように「認知症予防食生活支援指導員」と「認知症予防音楽ケア体操指導員」があります。平成24年に「認知症予防支援相談士」資格が

発足し、その知識をさらに

「食生活」からの視点と、「運動」から

の視点で、それぞれ実践的にアプ

リーチしていくというイメージですね。

城多 その通りです。最近は

同じ資格制度が増えてきましたが、超高齢社会の到来ですから、様々な方向から認知症を学べるというのは喜ばしいことではないでしょうか。

当財団がご提供する3資格は



一般財団法人 国際技能・技術振興財団  
城多 秀年 常務理事

どなたでも気軽に挑戦していただけます。予備校的な対策講座も用意されていますが、もちろんテキストだけを購入して独学で試験に臨まるの方も多くいらっしゃいます。ただし、気軽に受けられると言つても難易度まで「気軽」というわけではありません（笑）。試験に挑戦いただく方の多くは高齢者医療や介護、福祉に携わるいわば「プロ」ですから、そういう方々を失望させない内容を目指しております。1月末に実施された試験が第11回目となります。3資格すべてを合わせた有資格者は述べ1500名ほど

誕生しました。  
—その中からさらに「マイスター」と呼ばれる福祉部門で活躍される方がいると伺いました。  
城多 はい。成績が優秀だった方で、現在も福祉関連で活躍をされる方。なおかつ資格取得後も定期的なフォローアップを希望され、併せてリマスターの役割を目指す方には「福祉マイスター」に登録いただけ、定期的なサポートを講じております。当財団が提供する資格制度は3資格からの実践が軸となりますので、今後もこれらを担う「福祉マイスター」の方々を、より多く養成してまいりたいですね。



認知症予防支援相談士試験  
公式テキスト

価格 2,400円(税別)



認知症予防食生活支援指導員試験  
公式テキスト

価格 2,200円(税別)

#### 資格認定基本情報

受験料：6,000円(税込)  
実施会場：東京・大阪・名古屋  
試験実施：年2回(1月・7月)  
合格者は認定証発行手数料として3,000円(税込)が必要。

#### 資格認定基本情報

受験料：6,000円(税込)  
実施会場：東京・大阪・名古屋  
試験実施：年1回(3月)  
合格者は認定証発行手数料として3,000円(税込)が必要。

\*認知症予防音楽ケア体操指導員は、実技型の「認定講座」です。  
次回日程は現在専用サイト構築中で、確定次第そちらから発表される予定です。

■総合お問い合わせ ■ 国際技能・技術振興財団 03-5443-0411  
<http://www.kgs-jp.com>